

第 140 号

発行日

2024. 3.24

Super Highway

春闘速報 27

J R 東労組バス関東本部

日本郵船 18%賃上げ 初任給 32 万 3300 円

日本郵船は、ベースアップと定期昇給で、およそ 18%の賃上げを行う。また、新卒初任給も 4 万 8,300 円増やし、32 万 3300 円にする。大幅な賃上げについて「採用競争力をいっそう強化するとともに事業をけん引していく人材への投資のため」としている。

なかまの声

どれだけ人が辞めても、残った人だけで、運行をし続けなければいけない。地域住民の足。他のバス会社は減便せざるをえない状況。新しい人材入れても、また辞める。一人前に育つまで時間がかかる。若者は、自動運転になるという事で免許取らない。少子高齢化。などなど問題は山積みですが、今までコロナ禍でのウィルスとの闘い、体調不良で今いる乗務員の人数で、仕事をこなさなければいけない状況、物価高騰の中で、泊まり行路が多く出費が多くなり、それらの疲労感、現場の疲弊感、ハンパない。明るい未来が少しでも見えるように、満額回答望みます。トラックやバスなど働く方がいなくて、これから先の輸送をどう続けて行けますか？新しく入っても一人前に育つまで、どれだけ時間と労力がかかりますか？研修しても事故や体調不良や賃金割が合わず、辞める人があとをたたくて、輸送業務できているといえますか。満額回答求めます。会社の存続が回答によっては、ここでストップなんて事もありえるかも。人がいなくて、減便。この会社入ってきて、研修しても、事故。乗務員として、長く運行できているのは、誰のおかげなのか。おもちゃで、バスを転がしている訳ではないです。一瞬の油断と判断ミスで人生オワタとなる事もありえる、リスクが高い仕事。人材不足、減便。つなぎとめるには、満額回答。

安物買いの銭失いではないですが、人も安い賃金だから、いいやとなる。人失う。高い賃金だから、頑張ろうとなる。モチベーションアップ。満額回答

J R バス 関東で働く仲間を一つに！